

学習課題(小学校4年生)



【国語】

〈学習課題〉

◆「プラタナスの木」（教科書⑥64～76 ページ）について学習します。

(1) (前回の学習の続きです。)

マーちゃんたちは、また、おじいさんに会えると思いますか。理由とともに、ノートや取組シートに書きましょう。

(2) 「プラタナスの木」という物語の^{みりよく}魅力は何だと思いますか。自分の考えを、ノートや取組シートにまとめましょう。

(3) これまでの学習から考えた「プラタナスの木」の^{みりよく}魅力を、おうちの人に^{しょうかい}紹介する文章を書きましょう。

※登場人物の変化に着目して書いてみるといいですね。

※完成したら、おうちの人に見てもらい感想をもらいましょう。

<p>【紹介文・例】 <small>しょうかいぶん</small></p>	<p>「プラタナスの木」という物語には、「マーちゃん」という人物が出てきます。最初は、さだった「マーちゃん」は、さやくと いう出来事を通して。</p>	<p>(中りやく)</p>	<p>最後まで読むと、さな気持ちになります。ぜひ読んでみてください。</p>
---	---	---------------	--

(4) 教科書 76 ページの「たいせつ」を読み、学習のポイントを確認し、もう一度、「プラタナスの木」を読んでみましょう。

◆「感動を言葉に」について学習します。

(1) 教科書⑥77 ページを読み、学習の見通しをもちましょう。

(2) 最近心を動かされたこと（考えたこと・見たこと・うれしかったこと・思ったこと・がんばっていること・聞こえたこと…など）を思い出して、ノートや取組シートに書き出しましょう。その中から、詩に書きたいことを選びましょう。

(3) 詩の組み立てを考えます。^{かいぎょう}改行のしかたや連の分け方など、どのような詩にしたいかを考えましょう。

※教科書 78 ページに「ニンジン」「およぐ」という二つの詩が出ています。どんな工夫があるか考えながら読みましょう。これまでに学んだ詩もふり返り、^{さんこう}参考にしましょう。

- (4) 心を動かされたときのことを、言葉や短い文で書き出しましょう。その中から、あなたの気持ちがよく伝わる言葉を選んだり、組み合わせたり、じゅんじょを入れかえたりしながら、詩を完成させます。
※詩でよく使われる書き方も使ってみましょう。

- ・あるものを、ほかのものにたとえる。
- ・同じ言葉や文をくり返して、調子を整える。
- ・様子を表す言葉を使う。

- (5) 読み返して、あなたの感動が伝わる表現になっているか^{たし}確かめます。
※教科書 79 ページの「たいせつ」を読むと、読み返すときのポイントが分かります。

- (6) 完成した詩を、おうちの人に読んでもらいましょう。

◆「冬の楽しみ」について学習します。

- (1) 教科書 80～81 ページを読んで、知っている冬の言葉をノートや取組シートに書きましょう。

※教科書にある言葉を書き写したり、自分が知っている言葉を書き加えたりしましょう。

- (2) 札幌の冬の行事や冬の楽しさを伝えるかるたを作りましょう。
※自分が伝えたいことを一つか二つ決め、かるたの形で表します。

【読み札】^{ふだ}表現したい冬のみ力が伝わるように、五・七・五で書く。

【取り札】^{ふだ}読み札に合った絵をかく。

右上に、読み札の最初の文字を○で囲んで書く。

※教科書 80 ページの例を^{さんこう}参考にしましょう。



◆教科書 89～99 ページで学習する漢字（各～労まで）をノートに練習します。（読み方や書き順は、教科書 159 ページにのっています。）

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・今回の「プラタナスの木」の学習課題は、前回からの続きです。これまでの取組を振り返りながら今回の学習に取り組むことができるよう、声掛けをお願いします。
- ・「冬の楽しみ」では、自分が伝えたいことを一つか二つ決めて、かるたの札を1～2枚作成することになりますが、札をたくさん作って、実際に遊ぶ活動も効果的です。
- ・かるたを作る際は、画用紙や紙などを適当なサイズに切り使ってください。無い場合は、ノートや学習シートに書くよう声を掛けてください。